

公 表 日

令和 元年 1 1 月 1 1 日

随意契約結果及び契約の内容

業務の名称	令和元年度 白川流域水循環検討業務
業務概要	別紙のとおり
契約担当官等の氏名並びにその所属する部局の名称及び所在地	分任支出負担行為担当官 九州地方整備局 熊本河川国道事務所長 鈴木 学 熊本市東区西原1丁目12番1号
契約年月日	令和 元年 1 1 月 1 1 日
契約業者名	令和元年度 白川流域水循環検討業務 八千代エンジニアリング・地圏環境テクノロジー設計共同体
契約業者の住所	福岡県福岡市中央区荒戸2-1-5
契 約 金 額	9,999,000円 (税込み)
予 定 価 格	9,999,000円 (税込み)
随意契約によることとした理由	別紙のとおり (※随意契約理由書を添付すること。)
業 務 場 所	白川
業 種 区 分	土木関係建設コンサルタント業務
履行期間 (自)	令和 元年 1 1 月 1 2 日
履行期間 (至)	令和 2 年 3 月 1 0 日
備考	入札情報サービス (P P I) (http://www.i-ppi.jp/Search/Web/Gyomu/Keika/Search.aspx) にアクセスし、発注機関及び業務名を入力して検索することにより、契約過程に関する情報を閲覧可能である。

契約理由書

1. 業務件名 令和元年度 白川流域水循環検討業務
2. 履行場所 白川
3. 契約の相手方 住 所：福岡県福岡市中央区荒戸二丁目1番5号
会社名：令和元年度白川流域水循環検討業務
八千代エンジニアリング・地圏環境テクノロジー設計共同体
電 話：(092) 751-1431
4. 契約適用法令：会計法第29条の3第4項及び
予算決算及び会計令第102条の4第三号

5. 当該業務の目的・内容及び契約に付する理由

1) 当該業務の目的

本業務は、白川における正常流量の設定に向けて、熊本地域におけるこれまでの水循環に関する検討や取り組み状況等を把握し、過年度に構築したモデル等の比較検討を行うとともに、関係機関と連携した熊本地域における水管理手法の検討を行うものである。

2) 業務の内容

1. 計画準備 . . . 1式
2. 資料収集・整理 . . . 1式
3. 熊本水循環モデルの更新状況と妥当性の検討 . . . 1式
4. 熊本地域水循環を踏まえた水管理手法の検討 . . . 1式
5. 熊本の地下水及び水循環に関する情報の蓄積と情報公開のあり方検討 . . . 1式
6. 今後の検討及び進め方についての整理ととりまとめ . . . 1式

3) 契約に付する理由

本業務の契約方式は、技術提案の公募を行い、提案のあった内容を総合的に評価し、契約の相手方を特定するプロポーザル方式である。

参加可能業者が最低20者あることを確認の上、技術提案書の提出を公募したところ、申請期間内に電子入札システムを通じ業務説明書を20者が入手（ダウンロード）し、4者から参加表明書が提出され、4者が参加資格を有していた。

参加資格を有する参加表明書提出者のうち4者を技術提案書の提出者として選定し、4者から技術提案書が提出された。

建設コンサルタント業務等請負業者選定事務処理要領及びプロポーザル方式による建設コンサルタント等の特定手続きにより技術提案書を審査した結果、契約の相手方は、本業務を遂行するために必要な配置予定技術者の資格及び実績等、配置予定技術者の成績及び表彰、実施方針及び特定テーマに係る技術力を備えていると判断された。

特に、配置予定技術者の資格及び実績は最も優れた評価であり、かつ「実施方針・実施フロー、工程表、その他」の「実施手順」、「その他」における工程表の工夫や重要事項の指摘として平成28年の熊本地震時を例に熊本水循環モデルを用いた地震時の地下水影響検討機能についての評価が記載されていること、及び特定テーマの「熊本地域の水循環機構を踏まえた水管理手法を検討する上での留意事項について」に対する技術提案について与条件との整合性、本業務を遂行するにあたっての有効性について、最も優れた提案が行われていたものである。

よって、会計法第29条の3第4項及び予算決算及び会計令第102条の4第三号により、上記契約の相手方と契約を締結するものである。

(契約理由書作成者)

熊本河川国道事務所 調査第一課長